

沖縄県うるま市の養豚場でCSF発生！

(国内58例目、沖縄県7例目10農場目)

- 3月12日、国内52～57例目の移動制限区域内にあり監視対象となっていたうるま市の農場（57例目の農場と隣接）においてCSFの疑似患畜が確認されました。

【発生の経緯】

- 3月10日、52～57例目の移動制限区域内にある農場において、CSFの定期検査のため立ち入り検査を実施。
- 県により、精密検査を実施したところ、3月12日、CSFの疑似患畜であることが判明。

【沖縄県CSF概要】

国内	沖縄	発生場所	日付	頭数	備考
52	1例目	うるま市	1/8	422	
	関連農場	うるま市	1/8	705	
53	2例目	うるま市	1/8	874	52例目の農場と隣接
	関連農場	沖縄市	1/8	2313	養豚団地(2戸2農場)
54	3例目	沖縄市	1/10	3012	52、53例目の移動制限区域内
55	4例目	うるま市	1/15	1717	52、53、54例目の移動制限区域内
56	5例目	沖縄市	2/2	1860	52～55例目の移動制限区域内
57	6例目	うるま市	2/25	1038	56例目の移動制限区域内
58	7例目 (本事例)	うるま市	3/12	440	52～57例目の移動制限区域内

【沖縄県CSF概要】（農林水産省、沖縄県HPより）

- ・沖縄県では、これまでに約12,000頭の豚が殺処分。
参考：県内飼養頭数 225,800頭（H30.2月現在）
- ・周辺農場の検査状況：移動制限対象農場（3km）、搬出制限対象農場（3～10km）、疫学関連農場を含め82農場で検査を実施。（1/22現在）
- ・野生いのしし検査：17頭検査し、全てCSF陰性。（2/17現在）
- ・3月6日より予防的ワクチン接種を開始。初回接種頭数：約24万頭。

病原体侵入防止対策を徹底してください！

○車両消毒の徹底

- ・ハンドル・ペダルの消毒、農場専用足マット使用！

車両の徹底消毒！

○各豚舎専用の長靴、衣服を着用

- ・豚舎内に持ち込まないよう確実に実施！

○野生動物の侵入防止対策

- ・ワイヤーメッシュ・電気柵の保守点検

衛生管理区域境界、畜舎周囲への石灰散布！

- ・畜舎・資材置場、防鳥ネット等の破損確認

ネズミ対策の実施！（ネズミ捕り、殺鼠剤）



異常があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします！

飛驒家畜保健衛生所

TEL：0577-33-1111（内線405）

FAX：0577-32-9019

※閉庁時には案内に従い「1」番 をプッシュしてください。

土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています。

